



学校だより第7号



神奈川県立伊勢原支援学校

令和5年12月22日

「ボランティアさんとのつながり」

伊勢原支援学校には、「児童・生徒」と「教員」の他に「事務員」「調理員」「技能員」「介助員」などの職員がいますが、それ以外にも「ボランティア」で学校に来てくださっている方たちがいます。

特に今年度は学校のホームページや、公民館などに貼らせていただいている募集ポスターを見て、たくさんの方が新規でボランティア活動をはじめてくださいました。本校は、給食の見守り、下膳や食堂の清掃を手伝っていただいている「給食ボランティア」や、愛甲石田駅から学校までの通学路で見守りをしてくださる「通学支援ボランティア」、授業などで児童・生徒の見守りや、準備片付けを手伝ってくださる「学習支援ボランティア」、ボランティアさんの得意なことをいかして教員と一緒に授業をしてくださる「ともボラ(ともに授業をつくるボランティア)」など、さまざまな方が活躍していただいています。お子さんの学年にもボランティアさんが関わってくださっているかもしれません。ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてくださいね。

本校の子どもたちにとって「さまざまな人と関わる経験」は大きな力になると思います。慣れない人や場が苦手、他者との距離感がつかみにくいなどいろいろな課題がある子どもも多いですが、学校という「いつもの人いつもの場所」に教職員とは違った関わりがあることは良い刺激になっています。学校という枠の中の社会だけでなく、学校の内外で地域の方々たくさん関わることで、児童・生徒自身のつながりが広がるのはもちろんのこと、地域の方々からの理解もすすみインクルーシブな社会へつながっていくかもしれません。お互いを知って、理解していくこと…今年度本校が取り組んでいる人権教育にも通ずるものがありますね。これからもボランティアさんなどの地域の方々とのつながりの一つひとつを大切にしていきたいです。

連携支援 GL 浅井佑香

「小学部1～5年遠足」

11月9日(木)に、平塚市総合公園に遠足に行きました。ふれあい動物園では学校から持って行ったニンジンや小松菜を動物たちに食べさせたり、広場ではユニバーサル遊具で遊んだりしました。秋晴れの気持ちのいい気候の中、遊んだことはもちろん、バスやお弁当、どれも楽しい思い出になりました。



「分教室1年宿泊学習」

10月26(木),27(金)に15名全員で愛川ふれあいの村に行ってきました。鮮やかな紅葉に囲まれ、銀杏の香りいっぱいの自然豊かな中で素敵な経験がたくさんできました。1日目は、クラフト活動でガスバーナーを使った焼き板アートづくり。夜はキャンドルファイヤーでレクリエーションと発表会。2日目はウォークラリーで歴史ある半原の町を探索しました。特にキャンドルファイヤーでの発表会では、一人ひとりが分教室に入ってから自分を振り返り、友達に感謝の思いを伝える、心が温まる時間となりました。



「七沢学園訪問部 小学部地域交流」

昨年度から始まった、近隣の厚木市立玉川小学校との交流。その中でも一番楽しみにしている玉川フェスタに今年も招待され、10月28日(土)に行ってきました。玉川小の子ども達みんな考えて作った6つのお店が、教室等を使い賑やかに開かれました。七沢の子ども達は、玉川小の子ども達から遊び方の説明を聞き、各お店でボウリングや輪投げ、魚釣り、宝探しなどのゲームを楽しむことができました。帰り際に「また来てくださいね」という言葉をかけて貰い、満足気に笑顔で帰路につきました。

「高等部 学習発表会」

11月21日(火)、お天気にも恵まれ、グラウンドで高等部学習発表会が行われました。3学年がそろって行事を行うのは初めてです!ダンスや縄跳び、演奏など日頃の成果を多くの方に見ていただきました。

